

平成28年度 第1回北杜市地域公共交通会議  
会議録

北杜市企画部企画課



# 会 議 録

会 議 名：平成28年度 第1回 北杜市地域公共交通会議

開催日時：平成28年6月28日（火） 午後1時30分～

開催場所：北杜市役所 北館3階 大会議室

- 会議次第：1 開会  
2 委嘱状交付  
3 市長あいさつ  
4 自己紹介  
5 地域公共交通会議及び市民バスの状況について  
6 会長・副会長の選任  
7 会長あいさつ  
8 協議事項  
    (1) 市民バス路線時刻表の見直しについて  
    (2) 料金改定検討方針について  
    (3) 既存路線の延伸要望について  
9 その他  
    (1) 高齢者運転免許証自主返納支援事業の拡大について  
    (2) 大坊・白須・大武川線（北杜高校便）の車両更新について  
    (3) 見直し路線の利用状況について  
10 閉会

会議資料：会議次第・協議事項その他資料・時刻表

会議の公開・非公開の別（非公開の場合はその理由）：公開

傍聴人の数（公開した場合）：0人

出席委員：浅川誠、高野三雄（野口友大代理出席）、中谷晃（鮫田金造代理出席）、櫻井八州彦、波木井義和、萩原英二、名取強、木嶋昭、鈴木一男（石川龍太随行）、中込淳（所一成代理出席）、近藤進（傳田修司代理出席）、土屋琢巳、深澤修（川島健吾代理出席）、茅野光一郎、小林忠雄、三澤完広、鈴木今朝和、大芝正和、赤羽久

欠席委員：志村宏文、高相克彦、大黒薫、加藤敏夫、小林伸二、佐々木邦明

事務局：菊原部長、小松課長、輿水課長補佐、白倉担当リーダー、土屋担当、寺島担当

**会議録署名委員：櫻井八州彦、波木井義和**

(委嘱状交付)

(市長あいさつ)

(自己紹介)

(地域公共交通会議及び市民バスの状況について)

(会長・副会長の選任)

北杜市地域公共交通会議設置要綱第5条第2項に基づき、委員の互選による選任を求め、事務局一任、事務局案了承される。

会長：茅野光一郎（北杜市社会福祉協議会長）、副会長：大芝正和（北杜市副市長）

(会長あいさつ)

**(協議事項) (事務局)**

それでは、早速、議事に移りたいと思います。

北杜市地域公共交通会議設置要綱第6条の規定によりまして、会長が議長となり議事を進めることになっておりますので、この後につきましては、茅野会長にお願いしたいと思います。

**(議長)**

それではしばらくの間、議長を務めさせていただきます。

事務局に確認しますが、傍聴者は本日おりますでしょうか？

本日は傍聴者はおりませんので、このまま進めさせていただきます。

それでは、会議の内容につきまして、議事録の署名委員を2名指名させていただきます。

須玉町区長会長の櫻井八州彦さん、長坂町区長会長の波木井義和さん、お願いいたします。

それでは、協議事項 (1) であります「市民バス路線時刻表の見直しについて」を議題といたします。

事務局より説明をお願いいたします。

**(事務局)**

それでは、「市民バス路線時刻表の見直しについて」ご説明させていただきます。

資料の6ページをお開きください。

時刻表の改定による「南部巡回線」の両回り化を行いたいと考えております。

現状につきましては、本日の資料の中に市民バス時刻表があります。

2枚目をご覧くださいと路線図がありますので、こちらを見ていただきたいと思います。

黄色い路線が「南部巡回線」になっております。

この南部巡回線につきましては、長坂駅を起点に説明させていただきますと、現在そこから右回りのみの運行となっております。

甲陽病院⇒5町田⇒高根総合支所⇒高根の湯、須玉に下りまして、百観音⇒市役所本庁⇒若神子⇒日野春駅、それから北杜高校、旧日野春小学校、そして長坂駅に戻ってくるという右回りのルートになっております。

時刻につきましては、時刻表を2枚めくっていただくと、黄色い時刻表がございますが、現在、10便を運行しております。

朝6時15分から19時33分までの10便での運行を行っております。

前年度の地域公共交通会議の折にも、「南部巡回線」の両回り化を検討したいとお話をさせていただいたところでございます。

時刻表の改定によりまして、「南部巡回線」の両回り化を実現したいと考えています。

両回り化につきましては、現在の予定ですが、平成28年10月から実施したいと考えております。

資料6ページの下段をご覧くださいますと、赤い矢印が左回りとなります。

1日右回り・左回り併せて、概ね8便程度の運行を検討しているところでございます。

時間につきましては、6時20分から19時58分までの間の運行を検討しております。

時刻の詳細につきましては、現在検討中であり、乗車人数の少ない便もありますので、それらを加味した中で、時刻表を改定し、両回り化を実現していきたいと思っております。

時刻表につきましては、次回の会議の中でお示したいと思っておりますので、本日は両回り化につきましてご検討をお願いしたいと思います。

以上です。

**(議長)**

ただいま説明がありました。

両回りということで、バスの台数も変わるのでしょうか？

**(事務局)**

失礼いたしました。

両回り化をいたしますが、バス1台での両回り化を検討しております。

昨年度見直しをいたしました「北部巡回線」という路線がございますが、それと同じように時刻表を改定し、1台で両回りをする、右に回ったり、左に回ったりして、両回り化を行っていききたいと思います。

**(議長)**

ありがとうございました。

委員の皆様からご質問、ご意見をお伺いしたいと思います。

この路線は、一番利用されている路線なのでしょうか？

**(事務局)**

はい。

利用者の多い路線です。

**(議長)**

利用している方もいるかもしれませんので、ご質問、ご意見をお願いいたします。

(議長)

会議を進めていくと、また何かお気づきの点が出てこようかと思しますので、のちほどお受けすることにして、この件につきましては、承認することよろしいでしょうか？

はい、特に異議がないようですので、承認とさせていただきます。

その次、協議事項(2)であります「料金改定検討方針について」を議題とさせていただきます。

事務局の説明をお願いいたします。

(事務局)

資料の7ページをご覧ください。

「料金改定検討方針について」ご説明させていただきます。

現在の市民バス料金について、その現状をまずご説明させていただきます。

現在の市民バスにつきましては、料金を距離制で行っているもの、すなわち乗車距離に応じて料金を徴収している路線と、巡回線による定額制によるもの、この2つがございます。

距離による路線につきましては、200円から610円の範囲内で乗車距離に応じて料金徴収しており、巡回線につきましては、定額で1乗車につき300円という料金体系になっております。

それから定期券につきましては、一般定期と通学定期、こちらにつきましては、路線が限定されている定期券となります。

また、福祉定期券という定期券もありまして、この定期券につきましては、1年間で15,420円、すべての路線に乗車可能というような定期券となっております。

こちらについては、65歳以上と障がい者手帳を有する方などの定期券となっております。

それから回数券もありまして、1枚100円の券になっています。

11枚綴りで1,000円、57枚綴りで5,000円、120枚綴りで10,000円の数券があります。

これが、現在の料金の状況でございます。

この料金体系での課題が右側に書いてございますが、現在、距離制料金と定額制料金とが混在をしております。

例えば、「南部巡回線」で長坂駅から甲陽病院まで乗ったとしますと、定額制である「南部巡回線」では300円となります。

一方、その他の距離制料金のバスで行きますと200円となります。

同じ区間を乗ることになるのですが、料金に差額が生じてしまっているのが現状であります。

これに対する不公平感も出てきているということでございます。

距離が長くなっていきますと「南部巡回線」で300円ということですが、距離制ですと長くなって410円というところも存在しており、そちらについても不公平感がでているということでもあります。

また、距離制の料金に消費税の関係で10円を上乗せで現在徴収しております。

これに伴いまして、金種の違う小銭を高齢者が取り扱うケースが多くなっていますが、高齢者はなかなか金種の違うお金を取り扱うのは負担が大きいということでございます。

それから、10円という端数があるために、ドライバーがその都度、両替の対応をしている現状もございます。

運転手へのリスク（事故のリスク）も高い現状がございます。

それから、現在定期券は路線限定であります。路線が違えば、同じバス停でも利用ができないという状況でございます。

先ほどと同じように、例えば、長坂駅と甲陽病院間、「南部巡回線」の定期券であれば、「南部巡回線」しか乗れないというようなことになっていきますので、これらを改善したいと考えております。

定額料金・フリーパス定期券というような改定に向けて検討を進めてまいりたい、それに伴って利用者の利便性を高めていきたいと考えております。

1枚めくっていただき、8ページをご覧ください。

料金改定の（案）ということですが、具体的な金額はまだお示しできませんけれども、距離制の料金体系から定額制の料金の導入につきまして、平成29年度の実施を目指していきたいと考えております。

現在、乗車人数、運行収入などのデータから、どのくらいの料金が適正であるか算定中であります。

通学定期券・一般定期券のフリーパス定期券への切り替えも検討したいと考えております。

こちらについても、購入人数、他市町村、民間事業者の状況を調査・研究する中で、金額を検討してまいりたいと考えております。

これらの料金を変更しまして、それにプラスアルファして、バスに乗ってもらう取り組みを重点的に実施していきたいと思っております。

高齢者あての通知に市民バスの情報を入れるであるとか、ホームページ、SNS、その他紙媒体で積極的な情報発信に努めてまいりたいと考えております。

それから、利用者にアンケート調査を通じて、需要の掘り起こしを行い、利用者の拡大、バスに乗ってもらうというような取り組みを進めていきたいと思っております。

以上でございます。

#### **（議長）**

今まで運行をして来て、細かな点で課題が出ているようでございます。

そうした中で、今回8ページのような形で改正をしたいということでございます。

どうぞご質問をお受けしたいと思っております。

#### **（委員）**

市民バスだけではなくて、現行の4路線で山交タウンコーチさんの増富とか、下教来石の路線がありますが、それも定期券が自由に使えるような方法も考えているのでしょうか？  
全部の路線を乗れることを考えて検討しているのでしょうか？

#### **（事務局）**

今回ご説明したのものにつきましては、市民バスのみでございます。

ここで検討していただいている料金体系については、市民バスのみでありますので、市民バスのみ改定をしたいと考えております。

**(委員)**

分かりました。

できれば、どの路線でも自由に乗れるように検討していただければと思います。

例えば、市民バスから降りて増富に行くのに、その定期券で山交タウンコーチのバスに乗れるとか、回数券が使えるとか、そういうことは考えていないのでしょうか？

**(事務局)**

現状では、料金が入る場所といいますか、収入を入れる所が違いますので、現段階では難しいと思います。

補足をさせていただきますが、現状、市民バス路線と民間委託している路線、運行形態的に2つのパターンがありまして、そういった中で、民間に委託している路線の運行について、収入は、その運行事業者自体に収入として入っている現状があります。

いずれ様々な協議を経ていかなければ、市民バスと同じような形にならない、そういった課題があります。

市民バスにつきましては、市の考え方、そしてこの会議の考え方で進むことができますので、まず市民バスについては、こういった料金体系を導入していきたいと考えています。

**(議長)**

他に質問がありますでしょうか？

**(委員)**

質問ではありませんが、ひとつご協議していただきたいと思ひまして、発言をさせていただきます。

まず、定額料金については、高齢者への分かりやすさ、利用のしやすさといった部分で、より活性化につながるのではないかと考えております。

一方、当社では、葦崎など他地区に向かう路線、それと一部区間で一緒に走っている市民バス路線がありますし、これらバスだけではなくて、公共交通という部分で考えますと、市内を通っている鉄道、また、より細かな運行としてのタクシーもあるかと思ひます。

やはり、料金体系の違いは、今後出て来てしまうとは思ひておりますが、公共交通全般として、市民にとって利便性の高い方向に向かうよう、そして併せて、過度な競争にならないよう料金設定を一部考慮しながら検討を進めていただければと思ひております。

**(議長)**

質問ではないようですが、市としてコメントはございますか？

**(事務局)**

ごもっともだと思います。

公共交通ということから言えば、市民バスに限らず、タクシー、電車、民間のバス会社など全部合わせた中で、地域の公共交通を守っていかなければならないと感じております。

今回の料金の改定ということにつきましては、基本とするところは、現在の運賃収入を維持する中での料金設定を前提として考えております。

今回料金を統一して、極端に料金が下がるといったことはないような改定の進め方にしたいと考えています。

**(委員)**

私は、長坂町の渋沢というところに住んでおります。

北杜高校から約1キロばかり上ですが、実は、北杜高校からシルバーケアホーム一帯にかけては、今、路線バスは通っておりません。

ここで見ると、長坂駅から甲陽病院までは地域の拠点でもあり、甲陽病院を経由する、それは非常に大事であります、そこを過ぎるとそれぞれ地域に分かれることになっており、なかなか工夫されていると思いました。

ただ、北杜高校から長坂駅の区間は、これは多分、北杜高校に行ったら、また南に行って、JRの跨線橋の手前を右に曲がって、そのまま県道を通り、旧日野春小、やまなみ団地を通過して大日向団地、長坂駅というふうになっていると。

この区間を見たときに、人家が比較的少なくもったいないということと、私たちの住んでおります塚川、渋沢、ここのところは通っていませんし、その先の上条も通っていません。

道路が非常に狭いということで、住民の方から十数年前でしょうか、30キロ規制、昼の大型車両の通行禁止を公安委員会に提出したという経過もあり、大型車両が入れないといった事情があるわけですが、路線バスが通っていないということで、私たちの地区では、あまり路線バスの話題は出ていません。

しかし、今回この会議に出席するというので、地区の人たちに聞いてみたのですが、路線バスは非常にありがたいと…やはり大事な公共交通であるなと最近思いました。

そうしたことから、網の目のようにできるだけ細かく、いろいろなところをカバーするような運行が可能かどうか、教えていただければありがたいと思います。

**(事務局)**

今ご意見をいただいたわけですが、このあと、また路線の内容がありますので、そこでお話しさせていただきたいと思います。

**(議長)**

今の件につきましては、のちほど事務局から説明させていただきたいと思います。

他にご質問、ご意見はございますか？

**(委員)**

距離制料金から定額制料金への移行ということですが、年間にするとどのくらいの料金の差額といたしますか、そのへんのことはしっかり把握して、確定というのはいつごろの予定でしょうか？

この中で、何人バスを利用しているかわかりませんが、私は年1回か2回ぐらいしか乗ったことがないので、細かいことには疎いのですが、そのへんのメリット・デメリットをしっかりとわかりやすく伝えてほしいと思います。

**(事務局)**

住民への周知に関するお話かと思いますが、料金の改定につきましては、議会の承認も必要になります。

現在のところ、12月の議会に料金の改定を諮りたいと考えております。

当然、住民への周知につきましては、議会の議決を経た後ということになりますので、年明けぐらいには、料金体系が変わりますよ、と広報していきたいと考えています。

本日につきましては、あくまでもこの改定方針についてご承認いただくということで、具体的な料金設定につきましては、次回の会議にお示しさせていただくというスケジュールでございます。

**(議長)**

他にご質問、ご意見はございますでしょうか？

このバスを利用する人は、どちらかというと高齢者が多いですので、こういった料金等が改定される際には、わかりやすくPRする工夫はひとつお願いしたいと思います。

それが利用率のアップにつながってくると思いますので。

特に無いようですので、この件につきましては、原案のとおり承認させていただくということでご異議ございませんか？

それでは、ご異議無いようなので、承認することに決定いたしました。

次に、協議事項(3)「既存路線の延伸要望について」を議題とさせていただきます。

事務局より説明をお願いします。

**(事務局)**

資料の9ページをお開きください。

白州町の区長会、それから白州地域委員会からの要望ということでございます。

現在、大坊・白須・大武川線につきまして、白州町区長会と白州地域委員会から要望がございます。

既存路線につきまして、現在の利用者ニーズに合っていないということで、路線の改善について要望がございます。

今後の対応につきましては、大坊・白須・大武川線の北杜高校便をJマート、きららしティ、甲陽病院、そして長坂駅まで延伸を検討したいと考えております。

先ほど、北杜高校からの路線についても考えてほしいというお話もありましたが、具体的な

ルートについては、まだ決定はしておりませんが、白州地区からの要望もありますので、北杜高校からの延伸を検討したいと考えております。

こちらにつきまして、皆様のご意見をお聞きする中で、ルート設定をしていきたいと考えておりますので、よろしくお願いいたします。

次に、1ページめくっていただきまして、10ページをご覧ください。

こちらにも同様に要望が来ている路線でございます。

韮崎～下教来石線という、韮崎市との共同運行路線でございますが、こちらの下教来石から先、JR富士見駅、それからJR小淵沢駅までの延伸要望がございます。

韮崎市と共同運行している路線でございますので、県、そして韮崎市との協議も進めなければならぬと考えております。

併せて、県境を越えての路線延伸につきましては、定住自立圏事業における長野県富士見町との協議も必要になります。

それぞれの協議を進める中で、延伸の検討をしていきたいと思っておりますので、ご意見をいただければと思います。

なお、9ページの延伸につきましては、平成29年度からの実施に向けて、検討していきたいと思っております。

それから、韮崎～下教来石線につきましては、今後の協議の状況に合わせて検討していきたいと考えておりますので、実施時期は決まっております。

まずは、大坊・白須・大武川線の北杜高校便を先行して実施していきたいと考えております。

#### (議長)

本日のところはこういった要望が出ていると、そのことについて検討を進め、しかるべき時にこの会議で正式決定をしたいと、そういうことですね。

この延伸についての要望が出ております。

どうぞ、ご意見をよろしくお願いいたします。

また、質問がありましたら併せてお願いします。

#### (委員)

路線延長ですけれども、これは先ほど言われた北杜高校からシルバーケアホームの狭い道のことでしょうか？

#### (事務局)

具体的には、まだ路線設定はしていません。

交通の事情もございまして、路線バス車両が通行できるかどうか、そういったことも含めて路線設定を考えていかなければならないと思っております。

#### (委員)

確かにあの道路は狭い道路ということで、私もよく歩きますけれども、やはり地域のみなさんと良く話をさせていただくとともに、拡張工事でもあればいいのですが、そのへんは時間帯、

仕事に行く人たち通勤の車もいますので、十分に検討していただければと思います。  
以上です。

(議長)

他にご意見ございますか？

(委員)

私の住まいは、増富でございます。

そのへんも併せてのお願いでございます。

先日、市の検診がございまして、そのときに年寄りの方といろいろ話す機会がございました。

困ったよ…という話がございまして… これはバスでございます。

時刻表の一番後ろを見ていただきたいと思います。

北杜市民バス塩川・黒森線の時刻表でございます。

上りが第1便、7時24分、塩川着となっておりますが、ここでこのバスは下りになるわけですね。

下りになって、8時46分に黒森について、そしてまた8時59分に塩川着、今度は3便になりますが、11時50分に塩川を出て、12時03分に黒森着、その次の4便は16時25分に塩川を出て、16時38分に黒森へ着く、そのようになっています。

実はここに、住民からこんな話がありました。

増富の全部の人口が460人あまり、この路線を使っている方が半分ぐらいではないかと思えます。

乗る人が少ないということは、みなさん理解しています。

しかし、バスが非常に乗りにくい、みなさん塩川病院に行くのですが、バスが無くて困る、何とか直してもらえないか…ということでございます。

こんな話がありまして、一番はこの3便・4便ですね、黒森まで行ってそのまま空車(回送)になるわけですね。

非常にそういう面では乗りにくいです。

かつて、3年間、東大のデマンドバスの実証がありましたね。

その時は、料金的にも良かったし、使い勝手が良かった、ところが今は乗る人が少ない。

実はこういう理由があるんですよ、ということとその検診の会場で私に訴えられましたので、近々、公共交通会議がありますので、私からその話を出しましょうと。

そういうふうには、このバスは非常に原則的だと思います。

3便も4便も黒森まで来たら、そのあとは乗せない、空車(回送)で乗せない、こうなっておりますので、みなさんは、なぜ乗せないのかと言っております。

ある人は、人が少ないからやむを得ないのか、といった諦めもあります。

しかし、ここを運行する以上は、それを加味してやっていただきたいと思います。

その方がおっしゃるには、子どもにいつも病院に送ってもらっているが、そうもいかないと、頼れないと、困ったものだと思っていたので、ちょっとその話をこの会場でさせていただいて、ご理解をいただければと思います。

### (事務局)

地域の事情ということで、お話いただいたところでございます。

ご承知のとおり、北杜市はエリアが広いということで、現状、すべての地域に路線バスが通っているわけではございません。

この地域の公共交通においては、安いという面と、利便性という側面ではやはり不便であるという面があるかと思えます。

そうした中で、何とか少しでも利便性を高めていこうと、こうした会議でみなさんの意見をいただき改善をしていくと、そういった現状であります。

今、ご意見をいただいた路線につきましては、当時、時刻表を設定した当初に何か特別な事情もあろうかと思えますので、その点をしっかり確認するとともに、地域のみなさんのご意見を区長さんが取りまとめていただいた中で、現状の時刻表の変更を検討していきたいと考えております。

また、先ほどのお話にも繋がるわけですが、ここでご協議いただいている内容については、地区の総意に基づいて挙げていただいた案件でございますので、これにつきましては、何とか実現していきたいということでお話しさせていただきました。

しかしながら、財政的な課題もございます。

すべてのものがすべて実現できるという状況でもございません。

この4月から路線の再編ということで、2路線を路線変更したのですが、この2路線につきましては、現状の予算を上げることなく変更したという状況でございます。

当然、バスの導入費用というものは一時的にかかるわけですが、実際の運行委託費自体は、現状を維持する中で変更したと、そういった現状でございますので、それを踏まえた上で、白州の区長会や地域委員会から要望をいただいた路線につきましては、何とか実現したいと思っておりますので、今後沿線の住民の意見を聞きながら、最終的な路線を決めていきたいと考えております。

以上でございます。

### (委員)

先ほど言い忘れまして。

私は、北杜市老人クラブ連合会の会長をしております、8つの連合会の会長方とは、この問題についてまったく議論しておりません。

使うのは高齢者ではないかと思えますので、また今後こういった話が出てくるかと思えます。

それともうひとつ、どうしても市民バス一辺倒でなくてはいけないのか…

先ほど申しましたとおり、デマンドバスで非常に利便性が良かったと、それを変えたと、そうではなくて、その地域に合った市民バス・デマンドバスを併用する、地域を分けて考えるといったようなことはないのか聞きたいと思えます。

それと先ほど、現在ある財政の中で、それを変えないで中身を変えていくというような話がありました、ただこれからは高齢化がどんどん進展していきます。

ですから、若干、社会保障費といえますか、市民の中で変化があったら、そういうものを加味しながらやっていくというような柔軟な姿勢が必要ではないかと思っております。

**(事務局)**

2点ほど質問をいただきました。

1点目は、以前、実証実験ということで市民バスと併用して運行していたデマンドバスでございます。

これにつきましては、この実証運行の取り組みについて、当時、議会でも議論された内容でございます。

現在でも、デマンド復活ということで、議員の方からもいろいろご意見をいただいているわけではございますが、その当時の課題がまだ現在も解消されている状況ではありません。

そした中で、デマンドの復活ということは、現在のところ考えておりません。

そういったことは、議会でもお答えしているところでございます。

ただ、先ほどからも申し上げておりますとおり、非常に広いエリアを有しているということで、市民バスだけでは、やはり限界があるということは、私たちも感じております。

交通空白地域の足の確保、特に高齢者の足の確保というところは、考えていかねばならないと考えております。

これについては、国の動向もございますので、それらも勘案しながら、何らかの形を作っていくと検討を進めております。

2点目、高齢者も増える中で現状の予算の中でやりくりするのは大変ではないか、予算も増やさざるを得ないのではないかと、というご意見でございます。

当然、世の中の状況においては、高齢化率が高くなる、2人に1人が高齢者になるといった状況でございます。

もちろん、そういったところへの予算配分も考えていかなければならないと思いますが、しかしながら、デマンド実証実験運行を取りやめた時の考えというのは、やはり財政負担がかかりすぎると…これがひとつの課題になっておりましたので、そういった部分も片隅のいれながら、高齢者に配慮した運行をしていかねばならないと考えております。

**(委員)**

先ほどの運行表について、午後の上りの2便が空車（回送）になっているところは、どのような説明であったのでしょうか。

**(事務局)**

それにつきましては、区のみなさんの考え方もあると思いますので、地元のみなさんの考え方をお示しいただければ、できる限りのことはしていきたいと考えております。

ただ、現状の時刻表につきましては、山交タウンコーチさんとの接続ということも配慮されている状況もありますので、それを含めて検討させていただきたいと思っております。

また、回送と実車では委託費の関係も変わってきますので、そういったことも含めて、お話を承りましたので、またご相談させていただきたいと思っております。

**(議長)**

他にご質問ございますか？

**(委員)**

私ども白州地区から2点、路線の延伸を要望しているわけではありますが、私自身、今年から区長会長になりまして、詳しくは分からないのですが、国道20号沿いに住むものからすると、長坂方面への路線はなかったものですから、この大坊・白須・大武川線（北杜高校便）の路線延長で甲陽病院へ、長坂駅へとつなげていただければ、下から上に上がれるという地域交流も図れると思いますので、ぜひお願いしたい。

それから、山交タウンコーチさんの下教来石線の延伸につきましても、小淵沢・富士見町については、市も進めている定住自立圏構想もありますし、私どもの地域も自家用車で小淵沢・富士見町に上がっていくという方も多くいますので、この件もぜひ検討を進めていただければありがたいと思います。

**(議長)**

要望ということによろしいでしょうか？

はい、個々の地域では、こうしてもらいたい、このほうがいい、というような点があろうかと思えます。

これからも、ざっくばらんに事務局とお話していただければと思います。

今日提案があったわけですが、全体的に他に何かご意見がございますか？

それでは、時間の関係もありますので、次に進めさせていただきます。

その他について、まとめて事務局から報告をいたします。

**(その他) (事務局)**

- (1) 高齢者運転免許証自主返納支援事業の拡大について
- (2) 大坊・白須・大武川線（北杜高校便）の車両更新について
- (3) 見直し路線の利用状況について

まとめて報告する。

**(議長)**

その他ないようですので、以上をもちまして終了いたします。

**署名委員** \_\_\_\_\_

**署名委員** \_\_\_\_\_